

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	和歌山工業高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通科目	学部等 共通科目	専門 科目	合計		
	知能機械工学科				8	8	7	
	電気情報工学科				8	8	7	
	生物応用化学科 (応用化学コース)				16	16	7	
	生物応用化学科 (生物化学コース)				16	16	7	
	環境都市工学科				9	9	7	
	メカトロニクス 工学専攻				8	8	7	
	エコシステム 工学専攻				8	8	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.wakayama-nct.ac.jp/gakusei/syllabus_w.html

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	和歌山工業高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/upload-file%20folder/02_%E4%BA%BA%E4%BA%8B/kisoku/yakuin-20220401.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	熊本大学長	2016年4月1日～ 2024年3月31日	理事長
常勤	豊橋技術科学大学 理事・副学長	2020年4月1日～ 2024年3月31日	国際交流・海外展開 情報システム
非常勤	東京大学教授	2022年4月1日～ 2024年3月31日	男女共同参画
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	和歌山工業高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) シラバスは教務委員会で確認の上、国立高専のWebシラバスシステムにより、統一的なスケジュールで作成している。Webシラバスの公開ページは4月に公表されるが、Webシラバスでの公表と併せて、本校ホームページでも公表している。	
授業計画書の公表方法	http://www.wakayama-nct.ac.jp/gakusei/syllabus_w.html
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 本校の学業成績評価並びに進級及び卒業の認定に関する規則で「成績評価は、試験の得点及び平常点(授業への出席状況、授業への取組状況、課題やレポートなどの評価を総合的に評価したもの)により、100点法で評価する」と定められており、学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定している。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 本校の学業成績評価並びに進級及び卒業の認定に関する規則で「成績評価は、試験の得点及び平常点(授業への出席状況、授業への取組状況、課題やレポートなどの評価を総合的に評価したもの)により、100点法で評価する」と定められており、全科目の成績評価の平均点により、学生の席次を決定する。成績の分布状況は、成績判定会で諮られる成績一覧表によって把握しているので、成績評価において、客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施している。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	http://www.wakayama-nct.ac.jp/gakusei/syllabus_w.html
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 本校では、「教育理念」に基づく5年間の一貫教育を通じて、エンジニアに必要な一般教養と専門知識・技能を身につけ、工学的技術への興味・関心や豊かな人間性・国際性を育むことにより、工学分野に関わる課題を、環境との調和に配慮しながら創造的に解決できる能力を備えた学生に対して卒業を認定する。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.wakayama-nct.ac.jp/gakkou/threepolicy_w.html

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	和歌山工業高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/documents/zaimusyohyoR2.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/documents/zaimusyohyoR2.pdf
財産目録	
事業報告書	https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/R2jigyohoukoku.pdf
監事による監査報告(書)	https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/kansaR2.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:独立行政法人国立高等専門学校機構の年度計画 対象年度:令和4年度)
公表方法: https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/upload-file%20folder/01_%E7%B7%8F%E5%8B%99/r4-keikaku.pdf
中長期計画(名称:独立行政法人国立高等専門学校機構の中期計画 対象年度:平成31年(2019年)4月1日から令和6年(2024年)3月31日まで)
公表方法: https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/chuukikeikaku-4th.pdf

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.wakayama-nct.ac.jp/_files/00038034/AnnualReport2019.pdf

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 知能機械工学科
教育研究上の目的 (公表方法：学則第 7 条の 2 https://www.wakayama-nct.ac.jp/_files/00042727/1gakusoku_R040107.pdf#page=2)
(概要) 幅広い産業における機器やシステムの設計、開発、研究、保守、操業等の業務において、創造的かつ主体的に取り組むための基礎技術や制御・知能化技術を含めた総合力を身につけ、日々進歩する科学技術を推進できる基本的学識と知的好奇心を備えた機械技術者の養成
卒業の認定に関する方針 (公表方法： https://www.wakayama-nct.ac.jp/gakka/mecha/threepolicy_m.html)
(概要) ・機械工学分野に関する幅広い最新の知識・技術を活用して課題を解決できる能力 ・地球環境の保全、地域社会との共生など、公共の安全・利益に配慮した倫理的な考え方ができる能力 ・学問的知識を駆使し、諸問題を的確に理解・分析し論理的に思考できる能力 ・国内外で通用するコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： https://www.wakayama-nct.ac.jp/gakka/mecha/threepolicy_m.html)
(概要) ・地域環境・地域社会との共生に関する理解・倫理観・コミュニケーション能力など幅広い知識を身につけるため、①人文・社会系、②数学・自然科学系、③保健・体育系、④芸術系、⑤語学系などの一般科目を開講し、教授します。 ・機械工学分野に関する幅広い知識を身につけるため、①力学材料系、②熱流体系、③設計工作系、④情報制御系などの専門科目を開講し、教授します。 ・工学的に考察する能力と技術力、諸問題を的確に理解・分析する論理的能力、地域環境や地域社会を考慮し公共の安全・利益に配慮したものづくりの考え方ができる能力、積極的に課題解決できる能力、プレゼンテーション能力を身につけるため、機械工学分野に関する演習・実験・実習・卒業研究などの実践的科目を開講し、教授します。 ・自分の将来を考えるために必要な知識・能力を身につけられるよう、学外実習・企業実践講座などのキャリアデザイン系科目を開講し、教授します。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法： https://www.wakayama-nct.ac.jp/gakka/mecha/threepolicy_m.html)
(概要) ・ロボットなどの知的機械を自作するための知識と技術を学びたい学生 ・自らの工夫で新しい装置を創造する意欲のある学生 ・機械工学を通して人と地球にやさしい社会の形成に貢献したい学生

学部等名 電気情報工学科
<p>教育研究上の目的 (公表方法：学則第7条の2 https://www.wakayama-nct.ac.jp/_files/00042727/lgakusoku_R040107.pdf#page=2)</p>
<p>(概要) 私たちの豊かな生活を支え、社会、産業の発展に大きく寄与している電気・電子・情報・通信などの基礎技術を身につけ、日々進歩し続ける電気情報技術に柔軟に対応できる課題発見解決型の電気情報技術者の養成</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：https://www.wakayama-nct.ac.jp/gakka/elec/threepolicy_e.html)</p>
<p>(概要) ・電気工学分野及び情報工学分野に関する幅広い最新の知識・技術を活用して課題を解決できる能力 ・地球環境の保全、地域社会との共生など、公共の安全・利益に配慮した倫理的な考え方ができる能力 ・学問的知識を駆使し、諸問題を的確に理解・分析し論理的に思考できる能力 ・国内外で通用するコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.wakayama-nct.ac.jp/gakka/elec/threepolicy_e.html)</p>
<p>(概要) ・地域環境・地域社会との共生に関する理解、倫理観、コミュニケーション能力など幅広い知識を身につけるため、①人文・社会系、②数学・自然科学系、③保健・体育系、④芸術系、⑤語学系などの一般科目を開講し、教授します。 ・電気工学及び情報工学分野に関する幅広い知識を身につけるため、①電気システム系、②電子系、③情報系などの専門科目を開講し、教授します。 ・工学的に考察する能力と技術力、諸問題を的確に理解・分析する論理的能力、地域環境や地域社会を考慮し公共の安全・利益に配慮したものづくりの考え方ができる能力、積極的に課題解決できる能力、プレゼンテーション能力を身につけるため、電気工学及び情報工学分野に関する演習・実験・実習・卒業研究などの実践的科目を開講し、教授します。 ・自分の将来を考えるために必要な知識・能力を身につけられるよう、学外実習・企業実践講座などのキャリアデザイン系科目を開講し、教授します。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.wakayama-nct.ac.jp/gakka/elec/threepolicy_e.html)</p>
<p>(概要) ・電気エネルギーで私たちの社会を豊かにしたい人 ・アプリや人工知能のしくみを学びたい人 ・ロボットなどを思い通りに動かすための知識と技術を学びたい人</p>

学部等名 生物応用化学科
<p>教育研究上の目的 (公表方法：学則第7条の2 https://www.wakayama-nct.ac.jp/_files/00042727/lgakusoku_R040107.pdf#page=2)</p>
<p>(概要) 人々の生活を支える様々な物質について、化学および生物工学に基づく基礎的理解と工学的センスを身につけ、ものづくりに誇りを持って地球環境保全の立場から人類に役立つ物質を実践的に創造できる化学・生物工学技術者の養成</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：https://www.wakayama-nct.ac.jp/gakka/biochemi/threepolicy_b.html)</p>
<p>(概要) ・ 応用化学分野及び生物工学分野に関する幅広い最新の知識・技術を活用して課題を解決できる能力 ・ 地球環境の保全，地域社会との共生など，公共の安全・利益に配慮した倫理的な考え方ができる能力 ・ 学問的知識を駆使し，諸問題を的確に理解・分析し論理的に思考できる能力 ・ 国内外で通用するコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.wakayama-nct.ac.jp/gakka/biochemi/threepolicy_b.html)</p>
<p>(概要) ・ 地域環境・地域社会との共生に関する理解・倫理観・コミュニケーション能力など幅広い知識を身につけるため、①人文・社会系、②数学・自然科学系、③保健・体育系、④芸術系、⑤語学系などの一般科目を開講し、教授します。 ・ 応用化学及び生物工学分野に関する幅広い知識を身につけるため、①数理工学系、②化学系、③生物・地学系、④化学・生物工学系などの専門科目を開講し、教授します。 ・ 工学的に考察する能力と技術力、諸問題を的確に理解・分析する論理的能力、地域環境や地域社会を考慮し公共の安全・利益に配慮したものづくりの考え方ができる能力、積極的に課題解決できる能力、プレゼンテーション能力を身につけるため、応用化学及び生物工学分野に関する演習・実験・実習・卒業研究などの実践的科目を開講し、教授します。 ・ 自分の将来を考えるために必要な知識・能力を身につけられるよう、学外実習・企業実践講座などのキャリアデザイン系科目を開講し、教授します。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.wakayama-nct.ac.jp/gakka/biochemi/threepolicy_b.html)</p>
<p>(概要) ・ 化学的に、人に役立つ物質を作ったり、新しい物質・素材を発明したい学生 ・ 生物の力を活かして有用な物質を作ったり、未知の生体に関連する物質を発見したい学生 ・ 国際性を身につけつつ、地域の特徴や環境に配慮したものづくりをしたい学生</p>

学部等名 環境都市工学科
<p>教育研究上の目的 (公表方法：学則第7条の2 https://www.wakayama-nct.ac.jp/_files/00042727/lgakusoku_R040107.pdf#page=2)</p>
<p>(概要) 地震や津波に対する防災技術、地球温暖化問題に対する環境保全・自然との共生をはかる環境マネジメント技術、機能的で快適な街をつくる都市計画技術、橋梁など社会基盤の構造設計技術などを身につけ、グローバルデザイン能力に優れた創造的技術者の養成</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：https://www.wakayama-nct.ac.jp/gakka/civil/threepolicy_c.html)</p>
<p>(概要) ・土木工学分野に関する幅広い最新の知識・技術を活用して課題を解決できる能力 ・地球環境の保全、地域社会との共生など、公共の安全・利益に配慮した倫理的な考え方ができる能力 ・学問的知識を駆使し、諸問題を的確に理解・分析し論理的に思考できる能力 ・国内外で通用するコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.wakayama-nct.ac.jp/gakka/civil/threepolicy_c.html)</p>
<p>(概要) ・地域環境・地域社会との共生に関する理解・倫理観・コミュニケーション能力など幅広い知識を身につけるため、①人文・社会系、②数学・自然科学系、③保健・体育系、④芸術系、⑤語学系などの一般科目を開講し、教授する。 ・土木工学分野に関する幅広い知識を身につけるため、①情報系、②構造系、③材料系、④土系、⑤水系、⑥測量系、⑦計画系、⑧環境系などの専門科目を開講し、教授する。 ・工学的に考察する能力と技術力、諸問題を的確に理解・分析する論理的能力、地域環境や地域社会を考慮し公共の安全・利益に配慮したものづくりの考え方ができる能力、積極的に課題解決できる能力、プレゼンテーション能力を身につけるため、土木工学分野に関する演習・実験・実習・卒業研究などの実践的科目を開講し、教授する。 ・自分の将来を考えるために必要な知識・能力を身につけられるよう、学外実習・企業実践講座などのキャリアデザイン系科目を開講し、教授する。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.wakayama-nct.ac.jp/gakka/civil/threepolicy_c.html)</p>
<p>(概要) ・街・道・港・橋などをつくりたい学生 ・地球環境を守りたい学生 ・災害から人の命を守りたい学生</p>

学部等名	メカトロニクス工学専攻
教育研究上の目的	(公表方法：学則第42条の2 https://www.wakayama-nct.ac.jp/_files/00042727/lgakusoku_R040107.pdf#page=7)
(概要)	機械工学，電気電子工学及び情報工学の知識を基礎に，持続可能な社会の形成に活かせる創造力，多面的に問題を発見し解決する能力，豊かな人間性と国際性を備え，メカトロニクスに関する研究開発能力に優れた技術者となりうる人材を養成する。
卒業の認定に関する方針	(公表方法： https://www.wakayama-nct.ac.jp/senkouka/threepolicy_s.html)
(概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・機械工学・制御工学・電気電子工学・情報工学分野のうち自ら選択するコアを中心とした深い知識と多くの経験に基づく技術、その他幅広い知識と技術を活用し多面的に問題を解決できる能力 ・地域環境、地域社会との共生に関する理解および倫理観を身につけ、公共の安全・利益に配慮したものづくりの考え方ができる能力 ・得られた深い学問的知識を駆使し、諸問題を的確に理解・分析する論理的能力 ・国際的に通用するコミュニケーション基礎能力、プレゼンテーション能力
教育課程の編成及び実施に関する方針	(公表方法： https://www.wakayama-nct.ac.jp/senkouka/threepolicy_s.html)
(概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域環境、地域社会との共生に関する理解、倫理観、国際的に通用するコミュニケーション基礎能力など幅広い知識を身につけるため①社会系、②語学系、③工業倫理などの一般科目を開講し、教授します。 ・幅広い知識を身につけるため専門共通科目を機械工学、制御工学、電気電子工学、情報工学分野に関する深い学問的知識を身につけるため専門専攻科目を開講し、教授します。 ・工学的に考察する能力と技術力、諸問題を的確に理解・分析する論理的能力、地域環境や地域社会を考慮し公共の安全・利益に配慮したものづくりの考え方ができる能力、多面的に問題を解決できる能力、プレゼンテーション能力を身につけるため、機械工学、制御工学、電気電子工学、情報工学分野に関するゼミナールや実験、特別研究などの実践的科目を開講し、教授します。
入学者の受入れに関する方針	(公表方法： https://www.wakayama-nct.ac.jp/senkouka/threepolicy_s.html)
(概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い専門性や論理性を身に付けた技術者として、持続可能な社会の形成に貢献したい学生 ・自主的・継続的に学習や研究に取り組み、自己の向上を目指したい学生 ・技術者教育を受けるために必要な専門基礎や英語などについての基礎能力を持っている学生 ・企業において、技術者としての基礎能力を有し、更に自己の能力を伸ばしたいと考える学生

学部等名 エコシステム工学専攻
<p>教育研究上の目的 (公表方法：学則第42条の2 https://www.wakayama-nct.ac.jp/_files/00042727/lgakusoku_R040107.pdf#page=7)</p>
<p>(概要) 応用化学，生物工学，環境工学，土木工学の知識を基礎に，持続可能な社会の形成に活かせる創造力，多面的に問題を発見し解決する能力，豊かな人間性と国際性を備え，エコシステムに関する研究開発能力に優れた技術者となりうる人材を養成する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：https://www.wakayama-nct.ac.jp/senkouka/threepolicy_s.html)</p>
<p>(概要) ・応用化学・生物工学・環境工学・土木工学分野のうち自ら選択するコアを中心とした深い知識と多くの経験に基づく技術、その他幅広い知識と技術を活用し、多面的に問題を解決できる能力 ・地域環境、地域社会との共生に関する理解および倫理観を身につけ、公共の安全・利益に配慮したものづくりの考え方ができる能力 ・得られた深い学問的知識を駆使し、諸問題を的確に理解・分析する論理的能力 ・国際的に通用するコミュニケーション基礎能力、プレゼンテーション能力</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.wakayama-nct.ac.jp/senkouka/threepolicy_s.html)</p>
<p>(概要) ・地域環境、地域社会との共生に関する理解、倫理観、国際的に通用するコミュニケーション基礎能力など幅広い知識を身につけるため①社会系、②語学系、③工業倫理などの一般科目を開講し、教授します。 ・幅広い知識を身につけるため専門共通科目を応用化学、生物工学、環境工学、土木工学分野に関する深い学問的知識を身につけるため専門専攻科目を開講し、教授します。 ・工学的に考察する能力と技術力、諸問題を的確に理解・分析する論理的能力、地域環境や地域社会を考慮し公共の安全・利益に配慮したものづくりの考え方ができる能力、多面的に問題を解決できる能力、プレゼンテーション能力を身につけるため、応用化学、生物工学、環境工学、土木工学分野に関するゼミナールや実験、特別研究などの実践的科目を開講し、教授します。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.wakayama-nct.ac.jp/senkouka/threepolicy_s.html)</p>
<p>(概要) ・幅広い専門性や論理性を身に付けた技術者として、持続可能な社会の形成に貢献したい学生 ・自主的・継続的に学習や研究に取り組み、自己の向上を目指したい学生 ・技術者教育を受けるために必要な専門基礎や英語などについての基礎能力を持っている学生 ・企業において、技術者としての基礎能力を有し、更に自己の能力を伸ばしたいと考える学生</p>

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：https://www.wakayama-nct.ac.jp/_files/00040648/youran2021.pdf#page=7

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
知能機械工学科	—	3人	3人	1人	2人	0人	9人
電気情報工学科	—	4人	4人	1人	0人	0人	9人
生物応用化学科	—	4人	5人	0人	1人	0人	10人
環境都市工学科	—	3人	3人	0人	2人	0人	8人
総合教育科	—	8人	8人	0人	2人	0人	18人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
0人			34人				34人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： https://research.kosen-k.go.jp/plugin/rmaps/index/11/122?search_keyword=&affiliation=6640					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
知能機械工学科	40人	40人	100%	200人	203人	101.5%	若干名	2人
電気情報工学科	40人	40人	100%	200人	212人	106.0%	若干名	2人
生物応用化学科	40人	40人	100%	200人	203人	101.5%	若干名	1人
環境都市工学科	40人	40人	100%	200人	205人	102.5%	若干名	1人
メカトロニクス工学専攻	8人	14人	175%	16人	32人	200%	0人	0人
エコシステム工学専攻	8人	16人	200%	16人	31人	193.8%	0人	0人
合計	176人	190人	108.0%	832人	886人	106.5%	若干名	6人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
知能機械工学科	43人 (100%)	13人 (30.2%)	30人 (69.8%)	0人 (0%)
電気情報工学科	36人 (100%)	15人 (41.7%)	16人 (44.4%)	5人 (13.9%)
生物応用化学科	33人 (100%)	16人 (48.5%)	17人 (51.5%)	0人 (0%)
環境都市工学科	36人 (100%)	11人 (30.5%)	24人 (66.7%)	1人 (2.8%)
メカトロニクス工学専攻	14人 (100%)	3人 (21.4%)	11人 (78.6%)	0人 (0%)
エコシステム工学専攻	15人 (100%)	6人 (40.0%)	8人 (53.3%)	1人 (6.7%)
合計	177人 (100%)	64人 (36.1%)	106人 (59.9%)	7人 (4.0%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) シラバスは国立高専の Web シラバスシステムにより、統一的なスケジュールで作成している。Web シラバスの公開ページは 4 月に公表されるが、Web シラバスでの公表と併せて、本校ホームページでも公表している。
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
本校の学業成績評価並びに進級及び卒業の認定に関する規則で「成績評価は、試験の得点及び平常点（授業への出席状況、授業への取組状況、課題やレポートなどの評価を総合的に評価したもの）により、100点法で評価する」と定められており、学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定している。				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	知能機械工学科	167 単位	有・無	単位
	電気情報工学科	167 単位	有・無	単位
	生物応用化学科	167 単位	有・無	単位
	環境都市工学科	167 単位	有・無	単位
	メカトロニクス 工学専攻	62 単位	有・無	単位
	エコシステム 工学専攻	62 単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.wakayama-nct.ac.jp/shisetsu/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	知能機械 工学科	234,600 円	84,600 円	備考のとおり※1	※1: 学生会入会金 500 円 (入学時のみ) 学生会費 7,800 円 (年額) 教科書・教材・実習服等 約 90,000 円 後援会入会金 15,000 円 (入学時のみ、 兄弟姉妹が在学中の場合 免除) 後援会費 26,000 円 (年額、日本 スポーツ振興センター 共済掛金 1,550 円を含む) 寮生会費 120 円 (月額) (寮生のみ) 寄宿料 800 円 (月額) (寮生のみ)
	電気情報 工学科				
	生物応用 化学科				
	環境都市 工学科				
	メカトロ ニクス 工学専攻	234,600 円	84,600 円	備考のとおり※2	※2: 教科書等 約 33,000 円 後援会入会金 15,000 円 (入学時のみ、 本科 5 年生より持ち上がり 又は兄弟が在学中の場合は 免除) 後援会費 26,000 円 (年額、日本 スポーツ振興センター 共済掛金 1,550 円を含む) 寮生会費 120 円 (月額) (寮生のみ) 寄宿料 800 円 (月額) (寮生のみ)
	エコ システム 工学専攻				

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 修学支援として、(独)日本学生支援機構をはじめとする各種奨学金によって、毎年大勢の学生が奨学金の貸与もしくは給付を受けている。また、授業料免除は、授業料等の免除および徴収猶予委員会において適正に審査を行い、高等教育修学支援新制度によって支援できない学生のうちで、支援対象となる学生について、(独)国立高等専門学校機構本部に申請手続きを行っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 学生の進路指導については、早い段階から各学科で取り組み始め、4 年次夏季休暇中のインターンシップ(学外実習)を契機に、自分の進路を真剣に考えさせるように進路アンケートを実施し、それをもとに担任が個人面談を行い指導する。その後、11 月には 3,4 年生を対象に進路指導説明会および産業勉強会を実施する。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 教育の一環として、学生の心の成長や修学を含む学校生活の充実の促進、さまざまな問題や悩みを抱えた学生のサポートを目的として学生相談室が設置されている。相談室長 1 名(教員)、副相談室長 1 名(教員)、副相談室長が所属する専門学科を除く各専門学科と総合教育科の教員 4 名、寮務係長、看護師、スクールカウンセラー、ソーシャルスキルトレーナー、計 10 名を相談員とし、事務面を学生課長と学生課学生係がサポートしている。 また、スクールカウンセラーは、専門的立場から、カウンセリング・心理アセスメントを通して、自己理解の補助や心理的問題の軽減を図り、相談者の問題点が発達障害に起因するものについてはソーシャルスキルトレーナーと連携して対応している。 ソーシャルスキルトレーナーは発達障害等に起因する困り感を訴える学生に対して個人別ソーシャルスキル向上プログラムの提案とトレーニングを行う。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法 : https://www.wakayama-nct.ac.jp/info/kyoikujoho.html
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	G130110109407
学校名	和歌山工業高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		76人	67人	78人
内訳	第Ⅰ区分	37人	34人	
	第Ⅱ区分	21人	17人	
	第Ⅲ区分	18人	16人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				78人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)		0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況		0人	0人
「警告」の区分に連続して該当		-	-
計		-	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑つて認定の効力を失つた者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
年間	前半期	後半期	
	0人	0人	

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	-
訓告	-
年間計	-
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)		0人	0人
G P A等が下位4分の1		16人	15人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況		-	-
計		16人	15人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。